

## ニカメイガ（第2世代）の多発生に注意!!

近年、水稻では、坂井地区を中心にニカメイガの被害が発生しています。今年は越冬世代および第1世代の発生が多いことから、これから発生し、最も問題となる第2世代も多くなると予想されます。

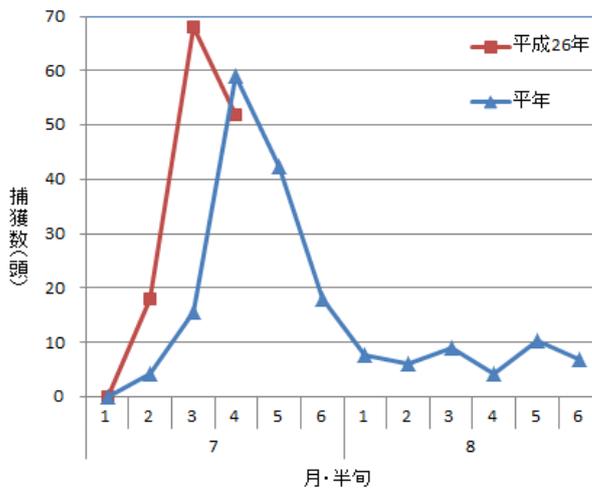


幼虫の食入による白穂

第2世代幼虫が多発すると白穂や出すくみ穂などを生じ、不稔による減収だけでなく、倒伏などの被害も助長します。また、第2世代は発生が長期間続くことや翌年の発生源となるため、2回防除するのが効果的です。適期に防除を徹底しましょう。

### 1 フェロモントラップにおける捕獲状況

第1世代成虫の捕獲数（7月20日時点）は138頭で、平年（79頭）より非常に多くなっています。また、同成虫発生最盛期は7月下旬頃と考えられます。



フェロモントラップにおける第1世代成虫捕獲数 (坂井市)

### 2 防除時期

- ・第2世代幼虫による加害は、7月末頃から増加する見込みです。
- ・とくに直播栽培やもち品種で多発します。
- ・追加防除は、1回目の7~10日後です。

	防除適期
粉剤、液剤	<u>7月31日頃</u>
粒剤	<u>7月20~31日頃</u>

薬剤名	使用濃度	10a当たり 使用量	安全使用基準		注意事項
			使用時期	使用回数	
エルサン粉剤3DL		3kg	収穫 7日前	2回以内	・粒剤使用の場合は1週間程度湛水し、かけ流しはしない。漏水の多いところでは使用しない。 ・パダン粉剤DL、パダンSG水溶剤、パダン粒剤4はナス科野菜、タバコにかからないように注意する。
パダン粉剤DL		3~4kg	収穫21日前	6回以内	
エルサン乳剤	1,000倍	60~150L	収穫 7日前	2回以内	
パダンSG水溶剤	1,500倍	60~150L	収穫21日前	6回以内	
パダン粒剤4		3~4kg	収穫30日前	6回以内	

☆最新の農薬登録情報 (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllp301.jsp>) を確認して下さい